

セブ・プログラムアンケート

参加期間： 2013年 2月 6日 ～ 2月 21日 2週間

参加動機：個人的に海外ボランティアに興味があり、孤児院での活動を希望していて、(言い方が悪いかもしれませんが) 東南アジアの発展途上国であるフィリピンに行ってみたく思ったから。

ボランティア活動に関して：

活動先施設の名前

マザーテレサ孤児院

活動は全て午後からで、2時半～5時までの約2時間半でした。

流れ：子どもと遊ぶ → 食事を手伝う → お風呂に入るのを手伝う → また遊ぶ

活動中のエピソード：難しかったこと、楽しかったこと、感心したこと、困ったこと等、何でもお聞かせ下さい。

とにかくはしゃぎまわりました。子どもたちはとても元気で、いくら遊んでも全然疲れてくれなかったです(笑)。一緒に遊ぶことが一番の秘訣で、すぐに仲良くなれました。危ない遊び方はすぐ注意されました(ジャイアントスイングや足をつかんで持ち上げるなど)。子どもたちの方から寄ってきてくれるのは嬉しかったですが、ちょっと乱暴なところもありました(服や髪を引っ張る、突進してくるなど)。

特に子供たちと遊ぶため、又は何かを教えるために、事前に用意されたこと・教材等ありましたら、参考までに教えてください。

折り紙や紙風船などをいっぱい持っていたのですが、シスターに渡してそれっきりになってしまいました。実際、持っていったものでは一つも遊ばなかったです。織り方なども覚えていたので、正直にいうと、少しくらい一緒に使いたかったです。

生活面に関するご質問：

滞在先ホテルについてはいかがでしたか。

小さなペンションでした。部屋はベッドが大部分を占めていたので、いつもその上に座っていました。空調、トイレ、シャワーは部屋にあったので、生活自体には全然問題なかったです。大きい虫は出なかったですが、ありはしょっちゅう出てきました(食べ物を放置していなくても!)。ほぼ毎日手入れしに来てくれたのでごみの処理には苦労しなかったです。

滞在先ホテルからボランティア先までの移動手段(タクシーでの所要時間・料金など)を教えてください。

- 1、ふつうはタクシーで片道100ペソ前後 30～40分くらい
- 2、道が混んでいてタクシーが来られない時はジープニーの乗り継ぎで、約20ペソ
タクシーよりは確実に時間がかかる

食事はどのようにしましたか、料金は？

朝：食べないか、買って来たドライフルーツなど

昼：適当なところのジャンクフード(ジョリビーやマックなど) 約100ペソ

夜：豪勢な日はコーディネーターの人が連れて行ってくれる。 約300ペソ
普通の日にはマックや、スーパーで買ったカップめんやお菓子 約100ペソ

滞在した地域でお勧めの場所は？(お店・レストラン・ショッピングモールなど)

滞在したペンションはキャピトルの近くで、歩いて15分くらいのところにロビンソンという名前の小さいモールがあったのでよく行っていた。両替もでき、レストランやスーパーもあるのでお勧めです。夜はライトアップされてとてもきれいです！

コーディネーターのセッションに関して：(○で囲んでください)：

○非常に良かった 良かった 普通 良くなかった 悪い

感想：ドゥエインが週4回くらい会いに来てくれて、何かしたいこととかお勧めのことを教えてくれてとても助かった。一緒に色々なところに行ったり、やったり、とても良い思い出になった。第一に私たちのことを考えてくれていたので、落ち着いて滞在できた。少し喋りたがりなところもあるが(笑)、とてもいい人でした。

オプションツアーに参加された方へ

どこに行かれましたか？ どれくらい時間・料金がかかりましたか。

カオハガン島 2泊3日 約23000円 (5食付き その他オプションなし)

その感想をお聞かせ下さい。

とても小さい島で、20分もすれば十分島を一周することができました。海辺の岩場にはカニが、海岸をちょっと出て水の中をみると、ヒトデやウニがいるなど、とても自然的な島でした。泊ったロッジは木を組んだもので、潮風が四方八方から入ってきて、最初は新鮮でしたが、夜寝る時も常に入ってくるので、気持ち悪くなってしまいました。部屋はベッドがあるだけなので、生活は面倒が多かったです(明かりもないので注意!)。セブでの生活に比べると、私は、金銭的にも高いと正直思っていました。(参考までに・・・)

今後このプログラムに参加する人たちの為に：

持参したほうが良いもの(生活のうえで、又ボランティア活動のために)

セブでの生活は基本的に全然不自由しませんでした。

蚊が多いので虫よけスプレーは持って行った方がいいかもしれないですが、実際全然効果はなかったです(笑)。(かゆみ止めは効きました!)

トイレットペーパーはありましたが、そのまま流せないで、袋を持って行ってよかったです。袋は食べ物の保管などにも使えて便利です!

ボランティア活動は特に、普段の生活でも汗をとにかくいっぱいかくので、その対策になるもの! 雨具はスコールが多いので、荷物に余裕があればあると安心です(現地でも買えますが・・・)。

ボランティア先での心得(注意すべき点、やってはいけない事、やったほうが良かった事など)

子どもたちはみんな個性があるので、その子に合った遊び方が必要だと思いました。男の子は比較的皆はしゃぎますが、女の子とも同じように遊んでしまうと、怒らせてしまうこともあったので、注意が必要です! 赤ちゃんも多かったですが、恥ずかしがりの子も多いので、慎重に近づいて、時間をかけて打ち解けていくことが大切でした。

また、仕事は自分から見つけることを心がけた方がいいです。食事後の掃除など、一通りの流れが分かったら、積極的に行動しましょう。

衛生面、食べ物、飲み物などで気をつけたほうがよいと思ったこと

体はそんなに強くはないと思うのですが、持参した薬は頭痛薬一回しか使いませんでした。水には注意して、水道水は絶対のみませんでした。レストランで出てくる水は、明らかに匂いや色が危なそうでない限り、普通に飲んでしまって問題なかったです。手は気づくとすぐ汚れているので、できるだけ洗うようにしていました。屋台の食べ物も、生ものでないものなら、食べて問題なかったです。

最後に、今回海外でのボランティアプログラムに参加しての感想をお願いいたします。

セブに行く前は、治安的にも衛生的にも色々な心配があったのですが、実際に現地についてボランティア活動、日々の生活をするにあたって、自分がいかに悪い方に考えすぎていたかを痛感して、セブの人々に申し訳なく思っていました。街中一人で出歩いても全然問題ないですし、逆に一人で行動していた方が、好きなことができて楽でした。(タクシーでは気をつけないと、高く請求されたり、目的地についてないのおろされたりします。)文化や常識的な違いで言うと、一番大きいのは「道」に関してでした。交差点以外に信号はあまりなく、自分で判断して行ける時に行かないと、車は待ってくれないのが普通というのが、ちょっとした問題でした。また、車の質が悪いのか、排気ガスがすごく不快で、よく頭が痛くなったのを覚えています。匂いに関してだと、よく道でフルーツを売っているのですが、炎天下でもかまわずやっているの、若干腐ったフルーツと、排気ガスのあいまった匂いはなんとも印象的でした。そんな道でも、ちょっと路地裏に行くと、子どもたちが走り回っていたり、バスケットをやっていたりするのを見ると、日本の子どもたちにはないような活気を目にすることができて、とてもいい経験になりました。

・・・ここからは参考までに・・・

治安・衛生の両面とも、日本に生まれ育ったというだけで、比較的安心することができるのが少し残念に思う。学校に行きたくても仕事をしなければお金が無いという家族、ましてや家族とすら一緒に暮らせない子どもたちを今回のボランティアを通して目にし、生まれた国の違いがどれほど人生に影響を与えているのかを痛感しました。日本では当たり前でもある、家族との食事を夢見ている子どももいると思うと、日本の子どもたちの自分の思い通りにならないとダダをこねる態度(日本に限ったことではないが)をみる目も変わってきました。そんな中でも、まだ小さい子どもだからかもしれないが、「ある物」で明るく遊び、暮らしている人々をみていると、十分満足はしていないと思うが、自分の生活を受け入れている様子がかがえ、日本との人間性の違いを発見できた。今回のプログラムは、ボランティア活動と共に、発展途上国の人々の生活を垣間見ることで、私の人生に多大な影響を与えてくれると同時に、人生観や視野を広げてくれた。

《ボランティア先での写真》



参加時年齢：20歳以下、○20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳以上
性別：○男性 女性



セブ・プログラムアンケートのお願い

この度はCECのプログラムにご参加いただき、ありがとうございました。

このアンケート用紙にご入力・記入のうえ、写真を数点CECまでメール添付にてご提出下さい。
ご郵送の場合は、写真を同封のうえ、ご記入頂いたアンケートと共にご送付下さい。
薄謝ではございますが、商品券をお送りさせていただきます。ご協力お願いいたします。
(パソコン入力をご希望の方はお知らせ下さい。メール添付にてこの用紙をお送りいたします。)
どれだけ長くなっても大丈夫です。スペースが足りなければ増やしてご記入下さい。

参加期間： 2013年7月1日～3月15日 2週間

参加動機： 海外ボランティアがどのように役に立っているのかを知りたいから。(20)

ボランティア活動に関して：

活動先施設の名前

マザーテレサ孤児院

具体的な活動内容とスケジュールを教えてください。時間に関してはおおよそで結構です。

(AM 9:00 ~ 11:00 英語学校 (50分授業 → 10分休憩 → 50分))
PM 2:30 ~ 5:00 ボランティア (遊び → 夕食補助 → 入浴補助 → 遊び)

活動中のエピソード：難しかったこと、楽しかったこと、感心したこと、困ったこと等、何でもお聞かせ下さい。

- ・ オムライスとフルーツポンチを作り、子供達に喜んでもらう(20)
(材料はセブのモールで調達しました)
- ・ しかし子供達がいるご世にねだられるように作るの、少し返答に困った。
- ・ 又、日本人は金持ちだから何も買えると思っている様子、ipadやiphoneをねだられ、無理だという事を説明するのは苦しかったです。

特に子供たちと遊ぶため、又は何かを教えるために、事前に用意されたこと・教材等ありましたら、参考までに教えてください。

お祈りを拝読したが、子供達は一緒に折るとせが、折るとせがんでくる傾向にある気がした。

おもちゃ等はなくても十分に遊べます。むしろ昔ながらの手遊びを復習していかれることをオススメします。(3歳クラス以降) おもちゃがあると子供達はそれを使って一人遊びを始めるので、手遊びの方が距離を縮めやすいと思います。

生活面に関するご質問：

滞在先ホテルについてはいかがでしたか？

冷房、温水シャワー、テレビ、バスタオルがあり、部屋の掃除も毎日キレにやっていたので。
リゾートグッズは出ますが、ホテルのスタッフに言えばゴミも回収してくれます。

滞在先ホテルからボランティア先までの移動手段(タクシーでの所要時間・料金など)を教えてください。
タクシーで20分程。90ペソ前後でした。

食事はどのようにしましたか、料金は？

ジョリゼー(セットで80~100ペソ)、近くのレストラン(100ペソ程度)、
カップラーメン(20~30ペソ)も食べていました。

滞在した地域でお勧めの場所は？(お店・レストラン・ショッピングモールなど)

映画館(SM)がオススメです。(2D:180ペソ, 3D:250ペソ)
観客がよさく笑い、まったりコミをみるので、映画内容がよくなるように楽しんでました。

コーディネーターのセッションに関して：(○で囲んでください)：

非常に良かった 良かった 普通 良くなかった 悪い

感想： ジョークばかりのドゥエインがほぼ毎日様子を見に来てくれます。
ビーチに行く際の車の手配等もしてくれて安心です。
時々シリアスな話もしてくれ、勉強になりました。
英語も聞き取り易く(簡単な単語を使った)、現在形ばかりで話す、
単語だけでも想像して返答してくれてくれる。しかし常に一種にいてくれる
部ではないので、ビーチレストランで困らない様に最低限の英語は勉強して
いきたいと思います。

オプションツアーに参加された方へ

どこに行かれましたか？ どれくらい時間・料金がかかりましたか。

- 例) ボホール島1日観光 約4,000ペソ
- 例) カオハガン島 2泊3日 約10,400ペソ

ビーチ①(水泳のみ+昼食) 750ペソ + 交通費 1200ペソ (7ソコト3.2人で行けば600ペソ)
ビーチ②(ダイビング) 約3990ペソ + 交通費 1200ペソ

カオハガン島 2泊3日 約9200ペソ。

- 1泊 3550ペソと言われましたが、実際には1泊ロジ 2200ペソ
- 3泊ロジ (200~700ペソ)も + 1食 450ペソ でした。
あついで、1泊お金に余裕に720ペソ 2200 + 450 x 3 = 3550ペソ
良いです。
- 日本円で全額が出来るので、のぞいてみるのもいいです。

その感想をお聞かせ下さい。

・ ダイビングは料金は高いですが、日本でやるよりも安いと思うので、是非やってみて下さい。とても親身にダイバーさんがサポートしてくれました。

・ カオハガン島は電気・カゴのない番屋での宿泊となり、初めは少し不安を感じましたが、風が心地良く、暖かい島民や美しい自然に囲まれるうちに楽しくなりました。リゾート地とは少し違う、"特別な島"です。本も出版されていますので、読んでから行くかオプションのプライベート英語レッスンを受けられた方へ
レッスン内容はいかがでしたか。

1人目の先生：テキストに沿ってレッスンをしてくれました。文法の問題点を指摘してくるので英語の勉強になりました。

2人目の先生：雑談ばかりでしたが、日本とフィリピンの違いを知ることが非常に勉強になりました。どれくらいの時間数、レッスンを受けられましたか。

2週間 4日 x 2レッスン = 計8レッスン
(1レッスン50分)

ホテル又はボランティア先から英語学校まで、どのように移動されましたか。料金は？

片道、タクシーで120~130ペソ。所用時間は30分程。
車のラッシュで道が混んでいますが、料金も高くなってしまいました。

今後このプログラムに参加する人たちの為に：

持参したほうが良いもの（生活のうえで、又ボランティア活動のために）

ハンドソー（製菓用）、虫まけスプレー、タオル

ボランティア先での心得（注意すべき点、やってはいけない事、やったほうが良かった事など）

FBで友達になってと言われたり、ipod等をねだられたりしたが、時にはキッパツで断ることもあったと思います。

衛生面、食べ物、飲み物などで気をつけたほうがよいと思ったこと

ファストフードの氷等でお腹を壊すことはありませんでした。
予防策として乳酸菌を服用していました。
(ビオフェルミン)

冷蔵庫が壊れて引いた子がいたのど、カビ薬は持参した方がよいと思います。

最後に、今回海外でのボランティアプログラムに参加しての感想をお願いいたします。

私たちCEC以外でも地元や他国のボランティアの方を見かけることがあり、たくさんのおきなボランティアが子供達の支えになっていると感じました。

フィリピンは"安い国"だと考えていましたが、それは間違っていました。どこへ行っても人の笑顔があふれ、親切でした。その点では日本よりもずっと豊かな国です。

手洗いや洗濯やカオハガン島での電気のない生活は大変ではありましたが、生きていく！ということを強く感じました(笑)。

清潔性を重視して、行く前にはとても不安でしたが、そんなことにはならなくなりました。帰国してから友人・家族に「たごまくなつたね」とよく言われます。衛生・安全面でも不安に感じることがあると思いますが、ぜひチャレンジしてみてください。

ご自身がフィリピンで撮られた写真など、お貼り頂き、その写真の説明文も加えて下さい。

いただいた写真は今後参加される皆さんの為に利用させて頂きます。さしつかえない範囲で結構

ですので、現地の人たちとの交流していただけます。(お写真は貼り付けず同封)

ホテルの警備員(左端)と仲良くなり、靴を履かせてもらいました。



ご協力ありがとうございました。

ご参加時年齢：20歳以下、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳以上

性別： 男性 女性

(該当箇所にお○をお願いします。)



孤児院の子供達と。

セブ・プログラムアンケートのお願い

この度はCECのプログラムにご参加いただき、ありがとうございました。

このアンケート用紙にご入力・記入のうえ、写真を数点CECまでメール添付にてご提出下さい。
ご郵送の場合は、写真を同封のうえ、ご記入頂いたアンケートと共にご送付下さい。
薄謝ではございますが、商品券をお送りさせていただきます。ご協力お願いいたします。
(パソコン入力をご希望の方はお知らせ下さい。メール添付にてこの用紙をお送りいたします。)
どれだけ長くなくても大丈夫です。スペースが足りなければ増やしてご記入下さい。

参加期間：H25年3月9日～3月22日 2週間

参加動機：大学で看護学を専攻していて、将来の職業の選択のきっかけになれば良いと思ったから。また、子供と遊ぶのが好きだから。発展途上国を自分の目で見てみたかったから。

ボランティア活動に関して：

活動先施設の名前

マザーテレサ孤児院

具体的な活動内容とスケジュールを教えてください。時間に関してはおおよそで結構です。

日、木曜日以外の14時～17時。

子供たちと遊び、食事の時や入浴の時はお手伝いをしました。

活動中のエピソード：難しかったこと、楽しかったこと、感心したこと、困ったこと等、何でもお聞かせ下さい。

子供たちは本当にかわいくて、元気でした。なかなか一緒に遊んでくれない子、笑ってくれない子がいましたけど、何度も話しかけてやっと笑ってくれるようになりました。初めて見た笑顔は一生忘れられない程、嬉しかったです。ボランティアの私達には甘えているのか、なかなか言うことに聞く耳をもってくれないこともあり、促すのが大変でした。

特に子供たちと遊ぶため、又は何かを教えるために、事前に用意されたこと・教材等ありましたら、参考までに教えてください。

風船はどれだけタック持って行っても足りないのではなにか...というほど人気でした。ボールもとても喜んでくれました。ホテルのジャンプが禁止ということで、持って行った縄とびは、近所の子供たちにプレゼントしました。

すぐに遊べる物は自分で子供たちに渡し、その他の物は子供たちの誕生日プレゼントやクリスマスプレゼント用にシスターに渡しました。

生活面に関するご質問：

滞在先ホテルについてはいかがでしたか。

私の部屋はまったく虫がでなかったのでもって快適でした。温水シャワーもあり、何も不自由はなかったです。

滞在先ホテルからボランティア先までの移動手段(タクシーでの所要時間・料金など)を教えてください。

タクシーで荷物重かったです。90～100ペソを乗り合わせた子と割って支払いました。

食事はどのようにしましたか、料金は？

近所のレストランでチキンを食べたり、ファストフードで食べました。安くすむときは80ペソ、少し高いところやたくさん食べると300ペソくらいでした。朝食はホテルの無料のものか、パンを買って食べていました。

滞在した地域でお勧めの場所は？(お店・レストラン・ショッピングモールなど)

ショッピングモールはSM(シュマート)が一番好きでした。

スーパーもショッピングも種類が豊富でした。

ホテルの近くのBBQのレストラン(何軒かありました)も美味しかったです。

コーディネーターのセッションに関して：(○で囲んでください)：

非常に良かった 良かった 普通 良くなかった 悪い

感想：ほぼ毎日、私達の様子を見に来てくれました。今日何をしたい?という質問や、体調の気遣いや楽しいお話をしてくれました。夜、みんなでお話しているときも常に笑わせてくれようとしてくれて、本当に楽しかったです。セブのことや、日本人の印象について知るとてもいい機会でした。

オプションツアーに参加された方へ

どこに行かれましたか? どれくらい時間・料金がかかりましたか。

例) ボホール島1日観光 約4,000ペソ
例) カオハガン島 2泊3日 約10,400ペソ



最後に、今回海外でのボランティアプログラムに参加しての感想をお願いいたします。

最初の2-3日は、暑さや湿気、自分が話したいことを英語で上手く伝えられないもどかさ、ストリートチルドレンを自分の目で見て感じたこと...たくさん感情や身体的ストレスから日本に帰りたい...と何度も思いました。でも、孤児院の子供たちの笑顔や、ボランティア賛助者の子たちが楽しそうにしているのを見て、私も今できることを精一杯頑張ろうと切り替えることができました。ストリートチルドレンを初めて見たときの気持ちは一生忘れません。毎日のようにストリートチルドレンに会い、何もできない自分が悔しくて、何のために来たのか?と何度も考え、またボランティアの仲間と討論したりもしました。日本では、現地で感じたことや疑問に思ったことを勉強し、自分のできることを見つけていきたいです。あっという間の2週間でした。本当に4行、良かったご自身がフイリピンで撮られた写真など、お貼り頂き、その写真の説明文も加えて下さい。

いただいた写真は今後参加される皆さんの為に利用させていただきます。さしつかえない範囲で結構ですので、現地の人たちとの交流している場面などいただけましたら助かります。よろしくお願いいたします。(お写真は貼り付けず同封でも結構です。)



ご協力ありがとうございました。

ご参加時年齢：20歳以下、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳以上

性別： 男性 女性 (該当箇所にお○をお願いします。)

今後このプログラムに参加する人たちの為に：

持参したほうが良いもの(生活のうえで、又ボランティア活動のために)

ウェットティッシュ(たくさん!!)、シャワー時にはくビーチサンダル、日焼け止め、虫よけ、かゆみ止め、洗濯物を干すロープや洗濯バサミ、薬(風邪薬、胃腸薬、子供たちと遊ぶときは汚れてもいい、のびてしまってもいい服 解熱剤、頭痛薬など)

ボランティア先での心得(注意すべき点、やってはいけない事、やったほうが良かった事など)

子供をおんぶすることは禁止されていました。(途中で知りまして...)

夜道で携帯やカメラを出すことはやめたほうが良いです。

衛生面、食べ物、飲み物などで気をつけたほうがよいと思ったこと

水道水は飲まない。(私は歯ミカキもミネラルウォーターでしています)

スーパーで売っている果物などは大丈夫でしたが、ナマモノはできるだけ避けたほうが良いです。

食事の前には必ず手洗いか、ウェットティッシュで除菌したほうが良いです。